

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

| | | | | |
|-------------|---|---|--|---|
| 氏名 | (法人にあっては名称) ナガセヴィータ株式会社 | | 住所 〒 702-8006 岡山市中区藤崎675-1 | |
| 本票作成 | 部署名：生産部門 生産戦略部 | | | |
| 主たる業種 | 分類コード 09 | 業種名：食料品製造業 | | |
| 事業の概要 | 食品・医薬品・化粧品・健康食品等の各種素材及び機能性色素の研究、製造、販売 | | | |
| 県内の主な工場等 | 番号 | 工場等の名称 | 所在地 | |
| | ① | 今保事業所 | 岡山市北区今保578 | |
| | ② | 岡山第一工場 | 岡山市中区藤崎675-1 | |
| | ③ | 藤田工場 | 岡山市南区藤田564-176 | |
| | ④ | 藤崎研究所 | 岡山市中区藤崎675-1 | |
| | ⑤ | 藤田製剤工場 | 岡山市南区藤田564-230 | |
| | ⑥ | 本社 | 岡山市北区下石井1-1-3日本生命岡山第2ビル新館 | |
| 特定事業者の該当要件 | <input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシ-250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 8 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台) | | | |
| 温室効果ガス排出量 | 基準年度(令和5年度) (令和6)年度排出量 | | 目標年度(令和7年度) | |
| | 46,730 t CO ₂ | | 34,424 t CO ₂ | |
| | 番号 | | (令和6)年度排出量 | |
| | ① | 今保事業所 | 33,157 t CO ₂ | |
| | ② | 岡山第一工場 | 929 t CO ₂ | |
| | ③ | 藤田工場 | 188 t CO ₂ | |
| | ④ | 藤崎研究所 | 2 t CO ₂ | |
| 主な工場等の排出量 | 番号 | | (令和6)年度排出量 | |
| | ⑤ | 藤田製剤工場 | 73 t CO ₂ | |
| | ⑥ | 本社 | 75 t CO ₂ | |
| | 削減目標の達成状況 | 計画期間：令和6年度～令和7年度(2箇年度) | | |
| | | <input type="checkbox"/> 総排出量基準 (6)年度削減実績 | | 目標削減率 |
| | | <input type="checkbox"/> 原単位基準 30.3 % | | △ 1.1 % <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達 |
| | (原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) | 温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 | | 原単位当たり排出量 |
| 主力製品換算製造量 | | 基準年度 525.0 kg CO ₂ /(t) | (6)年度 365.7 kg CO ₂ /(t) | |
| | | 目標年度 530.7 kg CO ₂ /(t) | | |
| (該当事業者のみ記入) | | | | |
| ベンチマーク指標の状況 | 対象事業の名称 | ベンチマーク指標 | 関連数値(令和6年度) | 達成率等 |
| | | | | |

【削減状況の自己評価】

令和6年度における当社のCO₂排出量および原単位あたり排出量は、目標を大きく上回る削減を達成しました。これは電力供給会社による排出係数の改善が大きな要因であるとともに、当社の日常的な省エネルギーの徹底、設備の高効率化、業務運用の見直しなど、継続的な取り組みを進めてきた成果と考えております。今後も外的要因に依存することなく、持続可能な形での排出削減を目指し、さらなる改善策の検討と実施を進めてまいります。

【推進体制】

当社では、省エネルギー法に基づく管理体制のもと、毎月エネルギー使用量を確認し、四半期ごとに開催する環境マネジメント推進委員会において削減の進捗確認、効果的な取り組み事例の共有と水平展開を図っています。

また、省エネパトロールの定期的な実施や、社員からの提案を促す省エネ提案制度の活用など、現場レベルでの意識向上と実践的な改善活動にも力を入れており、組織全体での省エネルギー推進に努めています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

| 工場等の名称 | 実施した措置及び今後の取組の内容 |
|--------|--|
| 岡山第一工場 | (令和6年度実施分) ・糖化槽の殺菌条件変更 (CO2削減量12t/年) ・酸素濃縮器の計画的停止 (CO2削減量18t/年) ・濾過予熱プレートの断熱 (CO2削減量26t/年) |
| 今保事業所 | ・洗净温水槽の常時昇温停止による蒸気削減 (CO2削減量13t/年) ・煮沸塔温度設定値変更による蒸気削減 (CO2削減量37t/年) ・エアー漏れ改修 (CO2削減量8t/年) ・乾燥機の廃熱利用による蒸気量の削減 (CO2削減量43t/年) ・機器の暖機運転時間の短縮 (CO2削減量24t/年) ・計画的なボイラ停止 (CO2削減量53t/年) |
| 岡山第一工場 | (今後実施予定分) ・冷却水ポンプのインバータ化 (CO2削減量8t/年) ・濾過予熱プレートの断熱 (CO2削減量26t/年) |
| 今保事業所 | ・スチームトラップ（診断・更新）管理 (CO2削減量20t/年) ・液化フラッシュ蒸気の廃熱回収 (CO2削減量381t/年) ・冷却ポンプの運転時間削減 (CO2削減量12t/年) ・コンプレッサー更新 (CO2削減量69t/年) |

【森林保全等吸収源対策への取組】

| | | |
|--------|---|--|
| 県内での取組 | 無 | |
| その他 | 無 | |

【再生可能エネルギーの導入】

| | | |
|--------|---|-------------|
| 県内での取組 | 有 | 太陽光発電設備導入検討 |
| その他 | 無 | |

【その他特記事項】

その他工場等

- ⑦岡山第一工場（桑野作業場）
- ⑧桑野事業所（L' プラザ・岡山営業所）

R2基準でR7に原単位で5%削減する目標を設定し、R5 実績で6%の削減を達成しました。昨年社名変更に伴う計画変更提出の要請を受け、当初の計画終期(R7)の原単位当たり排出量目標は変更せず、逆算して目標削減率をマイナスに変更して設定しています。